

ろうあ者の牧師 切り開いた半生

広島県の郡さん出版

「どんな試練も無駄ではない」



⑤三滝グリーンチャペルで手話を使って説教する郡さん
⑥郡さんの著書



あなたは見えなくて愛されている

郡美矢

広島市西区の三滝グリーンチャペルで、牧師として手話礼拝をする、ろうあ者の郡美矢さん(46)の著書「あなたは見えなくて愛されている」が出版された。公立小への転校、高校での柔道部入部、海外生活―と自らの力で夢を切り開いてきた半生を回想。聖書の言葉も引用し、疲れた心の休息や、他人と比べない生き方の大切さなどを現代人に問い掛ける。

(桜井邦彦)

「あなたは尊い一人の言葉が大きな支えだった存在。生まれてきてくれた。著書には自分自身の「ありがとう」。ともに半生と、そこから学んだろうあ者の両親からもらった言葉を、郡さんは今も大切に生きている。両親はクリスマスチャンで、父の愛情と、聖書にある

海外生活の夢実現

徳島市出身。小学6年の時に当時のろう学校か

ら公立小の普通学級へ転校した。「挫折しても、どうにもできませんよ」と話す教師に、母は「全部自分で責任を持ちます」と食い下がり、目標を後押ししてくれた。高校では女子がまだいかなかった柔道部入りを志願。

「例がない」と渋る教師もいる中でバックアップしてくれた顧問の言葉を著書で振り返り、「あなたならできる」は最強のメール」と強調した。母は「耳が聞こえないことを理由に、何事も諦めるな」と教えた。海外生活の夢をかなえ、22歳から12年間、カナダ、オーストラリア、米国で過ごした。歯科技工士としてカナダで働いた後、ろうあ者が誇りを持つて生きられるようにと米国の大学や大学院で神学やろう教育を学び、牧師の道へ。シカゴでは、貧困地区のろうあ者に演劇を指導した。

2006年に帰国。プロテスタントの教団に所属し、兵庫県豊岡市の但馬神愛キリスト教会で働き、昨年4月に三滝へ移った。世界共通の国際手話に加え、米国など4カ国語の手話が堪能で、国内外で通訳として活躍する。耳が聞こえないことを、著書では「神様からのプレゼント」と感謝している。ろうあ者だからいろんな経験ができ、私の

使命は無限」と書いた。聖書から「どんな試練や困難、苦しみも無駄ではなく、神の導きによって最後は益となり、豊かな収穫が得られる」という言葉を引用し、「試練によって人は乗り越える知恵を学び、分別が付き、愛情深く他の人の苦しみをもちと理解できる」と指摘した。著書を読んだ信者からは「励ましと癒やしをもたらえた」などと反響があった。「神様から見ている。一人は尊い存在。許せる気持ちを持ち、自分の行動を反省し、仲直りの努力を」

著書の出版は初めて。郡さんは取材に「現代人は生活に追われ心を見詰める余裕を失っている」とし、「私たちは愛されるために生まれてきた。この本が、誰かの生きる力や勇気の支えになればうれしい」とほほ笑む。

一人一人尊い存在 郡さんは、日曜日の同チャペルの手話礼拝では毎週説教に立つ。その様子は、インターネットで但馬の教会にも中継される。郡さんが留守のときは手話のできる牧師が

郡さんの著書「あなたは見えなくて愛されている」はKADOKAWA刊で1600円。1080円。